

機械設備定期点検(1)

点検月 平成 28 年 7 月

設備名	点検項目	周期	点検結果	設備名	点検項目	周期	点検結果			
原水調整設備	調整槽 調整槽ポンプ	浮遊物除去	6 月	○	砂ろ過塔	洗浄工程確認	月	○		
		本体付着物除去	年	—		空洗タイマー設定値(分)	月	○		
		潤滑油交換	年	—		逆洗タイマー設定値(分)	月	○		
		外觀	年	—		空気弁動作確認	月	○		
		プロペラ確認	年	—		No.1 活性炭吸着塔	洗浄工程確認	月	○	
		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
	原水槽	No.1原水ポンプ	浮遊物除去	6 月	○	No.2 活性炭吸着塔	洗浄工程確認	月	○	
			フロートスイッチ動作	6 月	—		逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
			本体付着物除去	年	—		空気弁動作確認	月	○	
		No.2原水ポンプ	潤滑油交換	年	—	ゼオライト原水ポンプ	本体付着物除去	年	—	
			外觀	年	—		潤滑油交換	年	—	
			プロペラ確認	年	—		外觀	年	—	
	揚水計量槽		汚泥等の堆積	月	○	消毒槽	浮遊物除去	6 月	○	
			槽内清掃	月	○		浮遊物除去	6 月	○	
	生物処理	第一PH調整槽 攪拌機	回転部スケール除去	年	—	放流槽	フリクトスイッチ動作確認	6 月	○	
			プロペラ確認	年	—		No.1処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—
		第一沈殿池 掻寄機	トラフの損傷、越流状況	月	○			潤滑油交換	年	—
			浮遊物の除去	月	○			外觀	年	—
第一汚泥ピット 返送汚泥ポンプ			グリッド補充	6 月	—		プロペラ確認	年	—	
			本体付着物除去	年	—		キャブタイヤケーブル絶縁	年	○	
			潤滑油交換	年	—	No.2処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
			外觀	年	—		潤滑油交換	年	—	
硝化槽		1槽 散気状態	水中攪拌機攪拌状況	月	○	プロペラ確認	年	—		
			オイル交換(業者)	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
			2槽 散気状態	月	○	2-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
			3槽 散気状態	月	○		潤滑油交換	年	—	
			4槽 散気状態	月	○	外觀	年	—		
			5槽 散気状態	月	○	プロペラ確認	年	—		
6槽 散気状態		月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—				
脱窒素槽		1槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○	2-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
			オイル交換(業者)	年	—		潤滑油交換	年	—	
			2槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○	外觀	年	—	
再曝気槽	循環ポンプ	オイル交換(業者)	年	—	プロペラ確認	年	—			
		散気状態	月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
		本体付着物除去	年	—	3-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—		
		潤滑油交換	年	—		潤滑油交換	年	—		
凝集沈殿	第二PH調整槽 攪拌機	水中攪拌機攪拌状況	月	○	外觀	年	—			
		オイル交換(業者)	年	—	プロペラ確認	年	—			
	脱気槽		散気状態	月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
			電磁弁動作確認	月	○	3-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
	混和槽 攪拌機		回転部スケール除去	年	—		潤滑油交換	年	—	
			プロペラ確認	年	—	外觀	年	—		
高度処理設備	凝集槽 No.1 攪拌機	回転部スケール除去	年	—	プロペラ確認	年	—			
		プロペラ確認	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
	第二沈殿槽 掻寄機		回転部スケール除去	年	—	4-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
			トラフの損傷、越流状況	月	○		潤滑油交換	年	—	
ろ過原水槽 ろ過原水ポンプ		浮遊物の除去	月	○	外觀	年	—			
		グリッド補充	6 月	—	プロペラ確認	年	—			
		回転部スケール除去	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
		浮遊物除去	6 月	○	4-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—		
		フリクトレベルスイッチ動作	6 月	○		潤滑油交換	年	—		
		本体付着物除去	年	—	外觀	年	—			
潤滑油交換	年	—	プロペラ確認	年	—					
外觀	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—					

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

機械設備定期点検(2)

点検月 平成 28 年 7 月

設備名		点検項目		周期	点検結果	設備名		点検項目		周期	点検結果	
薬品注入設備	薬品貯留槽	メタノール	ストレーナー清掃	年	—	空気源設備	空気圧縮機	ねじ、ナットの緩み	月	○		
		苛性ソーダ	ストレーナー清掃	年	—			ベルトの伸び、傷み	月	○		
		塩化第二鉄	ストレーナー清掃	年	—			吸引ろ過器詰め物点検	月	○		
		硫酸	ストレーナー清掃	年	—			運転開始圧力(Mpa)	月	○		
	薬品溶解槽	リン酸	ストレーナー清掃	年	—			運転停止圧力(Mpa)	月	○		
			タンク内部確認	年	—			潤滑油交換	6	—		
		凝集助剤A	ストレーナー清掃	月	○			吸引ろ過器詰め物交換	年	—		
			タンク内部確認	年	—			タンクの清掃点検	年	—		
	薬品注入ポンプ	メタノール	潤滑油交換	6	—		第二汚泥ピット	排泥ポンプ	本体付着物除去	6	—	
			No.1苛性ソーダ	潤滑油交換	6				—	潤滑油交換	年	—
			No.2苛性ソーダ	潤滑油交換	6				—	外観	年	—
			No.3苛性ソーダ	潤滑油交換	6				—	プロベラ確認	年	—
塩化第二鉄		潤滑油交換	6	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年		○				
		潤滑油交換	6	—	浮遊物除去	6		—				
		潤滑油交換	6	—	本体付着物除去	6		—				
		潤滑油交換	6	—	潤滑油交換	年		—				
凝集助剤	潤滑油交換	6	—	汚泥濃縮槽	濃縮汚泥ポンプ	外観	年	—				
	潤滑油交換	6	—			プロベラ確認	年	—				
	潤滑油交換	6	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	○				
	潤滑油交換	6	—			浮遊物除去	6	—				
薬品注入量	メタノール	実量測定(ml/分)	月		○	汚泥貯留槽		散気管確認	6	—		
	塩化第二鉄	実量測定(ml/分)	月		○			フリクトレベルスイッチ動作	6	—		
	りん酸	実量測定(ml/分)	月		○			浮遊物除去	6	○		
	凝集助剤	実量測定(ml/分)	月		○			本体付着物除去	6	○		
ブロウ設備	No.1曝気ブロウ	温度	3	—	床排水	床排水ポンプ	潤滑油交換	年	○			
		安全弁動作	3	—			外観	年	○			
		各接合部締付	3	—			プロベラ確認	年	○			
		Vベルト張り状態	3	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	○			
		ベアリンググリス交換	6	—			浮遊物除去	6	○			
		ギヤオイル交換	6	—			本体付着物除去	6	—			
		Vベルト交換	年	—		潤滑油交換	年	—				
		圧力計交換	年	—		外観	年	—				
		吸込フィルタ清掃	年	—		プロベラ確認	年	—				
		No.2曝気ブロウ	温度	3		—	第二雑排水槽	第二雑排水ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年	○	
			安全弁動作	3		—			浮遊物除去	6	—	
			各接合部締付	3		—			本体付着物除去	6	—	
	Vベルト張り状態		3	—	潤滑油交換	年			—			
	ベアリンググリス交換		6	—	外観	年			—			
	ギヤオイル交換		6	—	プロベラ確認	年			—			
	Vベルト交換	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	○						
	圧力計交換	年	—	PH計	PH計	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05				
	吸込フィルタ清掃	年	—			第一PH調整槽	KCL確認、補充	月	○			
	No.3曝気ブロウ	温度	3				—	電極の清掃及び校正	月	○		
		安全弁動作	3			—	硝化槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	8.15-8.25		
		各接合部締付	3			—		KCL確認、補充	月	○		
		Vベルト張り状態	3			—	電極の清掃及び校正	月	○			
		ベアリンググリス交換	6	—	第二PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55				
		ギヤオイル交換	6	—		KCL確認、補充	月	○				
	Vベルト交換	年	—	電極の清掃及び校正	月	○						
	圧力計交換	年	—	混和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45					
	吸込フィルタ清掃	年	—		KCL確認、補充	月	○					
	原水槽攪拌ブロウ	安全弁動作	3	—	電極の清掃及び校正	月	○					
		Vベルト張り状態	3	—	中和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85				
		ギヤオイル交換	3	—		KCL確認、補充	月	○				
		ベアリンググリス交換	6	—	電極の清掃及び校正	月	○					
		Vベルト交換	年	—	汚泥貯留槽攪拌ブロウ	安全弁動作	3	—				
		フィルタエレメント交換	年	—		Vベルト張り状態	3	—				
	空洗ブロウ	安全弁動作	3	—		ギヤオイル交換	3	—				
		Vベルト張り状態	3	—		ベアリンググリス交換	6	—				
		ベアリンググリス交換	年	—		Vベルト交換	年	—				
		ギヤオイル交換	年	—		フィルタエレメント交換	年	—				
		Vベルト交換	年	—	空洗ブロウ	安全弁動作	3	—				
		フィルタエレメント交換	年	—		Vベルト張り状態	3	—				
	給排水設備	床排水	床排水ポンプ	浮遊物除去		6	○	ベアリンググリス交換	年	—		
				本体付着物除去		6	○	ギヤオイル交換	年	—		
				潤滑油交換		年	○	Vベルト交換	年	—		
				外観		年	○	ベアリンググリス交換	年	—		
				プロベラ確認	年	○	ギヤオイル交換	年	—			
				キャブタイヤケーブル絶縁	年	○	Vベルト交換	年	—			
	雑排水槽	雑排水ポンプ	浮遊物除去	6	○	フィルタエレメント交換	年	—				
			本体付着物除去	6	—	PH計	PH計	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05		
			潤滑油交換	年	—			第一PH調整槽	KCL確認、補充	月	○	
外観			年	—	電極の清掃及び校正				月	○		
プロベラ確認			年	—	硝化槽			設定値(薬注ポンプon-off)	月	8.15-8.25		
キャブタイヤケーブル絶縁			年	○				KCL確認、補充	月	○		
第二雑排水槽	第二雑排水ポンプ	浮遊物除去	6	—	電極の清掃及び校正			月	○			
		本体付着物除去	6	—	第二PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55				
		潤滑油交換	年	—		KCL確認、補充	月	○				
		外観	年	—	電極の清掃及び校正	月	○					
		プロベラ確認	年	—	混和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45				
		キャブタイヤケーブル絶縁	年	○		KCL確認、補充	月	○				
プレッシャー		槽内点検	月	○	電極の清掃及び校正	月	○					
		警報の有無	月	○	中和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85				
		清掃	年	○		KCL確認、補充	月	○				
		PH計	PH計	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05	電極の清掃及び校正	月	○			
				第一PH調整槽	KCL確認、補充	月	○	汚泥貯留槽攪拌ブロウ	安全弁動作	3	—	
					電極の清掃及び校正	月	○		Vベルト張り状態	3	—	
硝化槽	設定値(薬注ポンプon-off)			月	8.15-8.25	ギヤオイル交換	3		—			
	KCL確認、補充			月	○	ベアリンググリス交換	6		—			
第二PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)			月	6.45-6.55	Vベルト交換	年		—			
	KCL確認、補充	月	○	フィルタエレメント交換	年	—						
混和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45	空洗ブロウ	安全弁動作	3	—					
	KCL確認、補充	月	○		Vベルト張り状態	3	—					
中和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85		ベアリンググリス交換	年	—					
	KCL確認、補充	月	○		ギヤオイル交換	年	—					
汚泥貯留槽攪拌ブロウ	汚泥貯留槽攪拌ブロウ	安全弁動作	3		—	Vベルト交換	年	—				
		Vベルト張り状態	3		—	フィルタエレメント交換	年	—				
		ギヤオイル交換	3	—	備考	・第二雑排水ポンプにつきましては、今月が引き上げ点検の月でしたが都合により来月に延期させていただきます。 ・排泥ポンプ、濃縮汚泥ポンプ、雑排水ポンプについてはポンプの引き上げが出来ないため引き上げ点検を行っておりません。						
		ベアリンググリス交換	6	—		○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中						
		Vベルト交換	年	—								
		フィルタエレメント交換	年	—								
安全弁動作	3	—										
空洗ブロウ	空洗ブロウ	Vベルト張り状態	3	—								
		ベアリンググリス交換	年	—								
		ギヤオイル交換	年	—								
		Vベルト交換	年	—								
		フィルタエレメント交換	年	—								
		安全弁動作	3	—								

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
×…異常あり(要修理) ▲…修理中

電気設備定期点検(1/2)

点検月 平成 28 年 7 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.1曝気ブロワ	1	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2曝気ブロワ	2	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3曝気ブロワ	3	電流値(A) : 170A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
原水槽 攪拌ブロワ	4	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1調整槽 ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2調整槽 ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1原水ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2原水ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
循環ポンプ	9	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
返送汚泥 ポンプ	10	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
排泥ポンプ	11	電流値(A) : 3.8A	6	3.07	3.02	3.08	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	50	50	50	○
余剰汚泥ポンプ	12	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
濃縮汚泥 ポンプ	13	電流値(A) : 3.8A	6	3.01	3.09	3.14	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
床排水ポンプ	14	電流値(A) : 3.7A	6	4.28	4.37	4.36	△
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			結果
りん酸 注入ポンプ	15	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
メタノール 注入ポンプ	16	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1硫酸 注入ポンプ	17	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2硫酸 注入ポンプ	18	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
塩化第二鉄 注入ポンプ	19	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1苛性ソーダ 注入ポンプ	20	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2苛性ソーダ 注入ポンプ	21	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3苛性ソーダ 注入ポンプ	22	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4苛性ソーダ 注入ポンプ	23	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一PH調整槽 攪拌機	24	電流値(A) : 2.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一沈殿槽 掻寄機	25	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1脱窒素槽 水中攪拌機	26	電流値(A) : 9.89A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2脱窒素槽 水中攪拌機	27	電流値(A) : 15.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3脱窒素槽 水中攪拌機	28	電流値(A) : 7.38A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします。

判定の基準は、電流値については定格値以下であること、絶縁抵抗値については3φは0.2MΩ以上とし1φは0.1MΩ以上とします。

電気設備定期点検(2/2)

点検月 平成 28 年 7 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
りん酸溶解槽 攪拌機	29	電流値(A) : 0.62A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ろ過原水ポンプ	30	電流値(A) : 9.8A	6	7.59	7.84	8.09	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
逆洗ポンプ	31	電流値(A) : 15.4A	6	13.37	13.78	14.39	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	10	10	10	○
ゼオライト原水 ポンプ	32	電流値(A) : 6.9A	6	-	-	-	
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.1 処理水移送 ポンプ	33	電流値(A) : 3.8A	6	3.01	3.09	3.12	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	11	11	11	○
No.2 処理水移送 ポンプ	55	電流値(A) : 3.8A	6	3.14	3.15	3.19	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	40	40	40	○
凝集助剤 注入ポンプ	36	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
雑排水 ポンプ	37	電流値(A) : 10.2A	6	7.61	8.09	8.13	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
第二PH調整槽 攪拌機	38	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
混和槽攪拌機	39	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1 凝集槽 攪拌機	40	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2 凝集槽 攪拌機	56	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二沈殿槽 掻寄機	41	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
中和槽攪拌機	42	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1 凝集助剤 溶解槽攪拌機	44	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.2 凝集助剤 溶解槽攪拌機	45	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空洗ブロワ	46	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
汚泥貯留槽 攪拌ブロワ	47	電流値(A) : 6.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
給水ユニット No.1ポンプ No.2ポンプ	49	電流値(A) : 3.5A	6	-	3.1	-	○
		電流値(A) : 3.5A	6	-	3.1	-	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	-	-	-	-
空気圧縮機	51	電流値(A) : 9.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二雑排水 ポンプ	57	電流値(A) : 9.8A	6	7.47	7.70	7.80	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	15	23	15	○
No.1-1 放流水 移送ポンプ	1	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-2 放流水 移送ポンプ	2	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-1 放流水 移送ポンプ	3	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-2 放流水 移送ポンプ	4	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-1 放流水 移送ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-2 放流水 移送ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-1 放流水 移送ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-2 放流水 移送ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E、S-E、T-Eとします

備考 給水ユニットの絶縁抵抗については、内部に電子基板が入っているため行っておりません、電流値については、測定箇所が狭いため機付の電流計の読みを記載しています。